



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」2020 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	荻野 俊夫	法人・事業所の特徴	小規模多機能ホームの理念「一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う」 介護が必要になっても住み慣れた我が自宅や地域の中で家族や親しい人たちとともに、最後まで自分らしく過ごしていただけるように、当事業所は、利用者の思いや家族のニーズに合わせ、柔軟にサービスを組み在宅生活を支援いたします。
事業所名	小規模多機能ホーム香寺	管理者	小林 敏子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			常勤スタッフ全員で取り組めており、改善計画が具体的にたてられている。素直に自己評価されている。	
B. 事業所のしつらえ・環境	設置場所や電信柱に案内を載せられるか検討する	事業所の特徴や内容を香寺支部ニュースに掲載し広報した。	環境の良い場所にあるので、案内・宣伝等により、地域の方へのお知らせを工夫する	地域への情報発信の方法として、「香寺便り」を回覧する(2回/年)
C. 事業所と地域のかかわり	地域共生社会の実現を目指して、幅広い年齢層が参加できる行事を発信していく	コロナ感染対策でボランティアや地域からの受け入れや事業所からの発信ができなかった	感染対策で事業所や地域の行事が中止となり、つながりが持てなかった。	感染対策を万全にし、地域ボランティア(レクリエーション等)を再開していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の住まわれている地域は広いが、買い物支援や季節ごとのドライブで地域に出向く	買い物支援はできなかったが、季節ごとのドライブや行事は毎月のように行い利用者には季節の風景や行事を楽しんでいただけた	コロナ渦でも地域への季節の外出ドライブ等で利用者の楽しみを工夫している。	民生委員や自治会、近隣の方との関わりを深め、利用者のインフォーマルサービスにつなげていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	「地域交流ルーム」を、学習の場や会合の場として開放し、自治会や老人会とつながりを持つ。又、他団体の行事に参加させていただき高齢化社会を共有していく	コロナ感染対策で地域行事もなく事業所の活用もできなかった	運営推進会議では、自治会長や民生委員、包括からの発言もあり充実している。地域の現状や情報の意見交換が行われている。	
F. 事業所の防災・災害対策			非常災害時の発生の場合を想定した話し合いが行われている	非常災害対策計画を職員と共有する。備蓄品の確認と補充